



学校だより

第5号 ジャカルタ日本人学校
令和7年(2025年)7月25日
発行:校長 谷口幸一郎
TEL: 021-745-4130

1学期 無事終了

4月11日に始まりました令和7年度、早いもので無事1学期が終了しました。その間、多くの児童生徒が日本に帰り、逆に多くの児童生徒がジャカルタへやってきました。この間、ありがたいことに予定されていた行事等をスムーズに実施できたことに感謝したいです。

1学期の子供たちの学校生活を振り返ってみると、普段の学習の他に様々な行事に必死に取り組んでいたようです。1年生の学校内探検、2年生の1年生への学校紹介、3年生の学校周り探検、4年生のボゴール植物園訪問あり、5年生の漁港探検、6年生のタマンミニインダー社会見学、中1の宿泊学習、中3の大使館訪問も行うことができました。学校へはヘリテージのボランティアの皆さんや東京交響楽団の方々も来ていただき、教育活動を充実させてもらいました。

つい先日もヘリテージの皆さんが5年生にインドネシアの稲作と漁業についての話をしてくださり、子供たちもとても興味深く聞き入っていました。私も拝聴させていただきましたが、映像、音声そしてナレーションなども工夫され、とても分かりやすかったです。

また、東京交響楽団の方々へ子供たちのお礼状を送りました。すると以下のような返事をいただきました。



このたびは、たくさんのメッセージをお送りくださいまして、ありがとうございました。皆さんのかわいい感想が嬉しく、楽員もまた是非行って演奏したいと申し出ておりました。中学生の子たちはみなさん字も上手で、しっかりした文章で驚きました。またお目にかかる日が来ることを願っております。今日リハーサルに来ていた、ジャカルタを訪問したメンバーの写真を送ります。



このような縁を大切に、来年度も是非学校で演奏してもらえたらいいですね。

ボゴール植物園見学

「路傍百種」、私たちの周りにある植物の中で、覚えておきたい植物を100種に絞ったものをこのように読んでいます。しかし、これは都道府県によってそれぞれ異なっていると思います。

例えば、北海道の花は「ハマナス」、東京は「ソメイヨシノ」、沖縄は「デイゴ」になります。自分の出身地の花や木などの名前は覚えておきたいものです。

さて、4年生と一緒に行きましたボゴール植物園、子供たちは事前に「ウッドソニー」や「ハスの花」などの写真の載った資料をもとに園内を探し回っていました。特に人気があった「ウツボカズラ」や「ハエトリグサ」には驚いていました。



私から子供たちに伝えたことは「牧野富太郎」博士のことでした。先生は日本の植物学の父と呼ばれ、約1500

種の植物に名前を付けてとされています。決して学歴があった方ではなかったようですが、植物が好きだという1点において誰よりも優れていました。そして、人から望まれて、東京大学で教鞭をとるまでになりました。

「好きこそものの上手なれ」ともいいます。子供が熱中できる何かを見つめることができれば、その人生はとても豊かになると思います。そのためには、私たち大人が子供たちに様々な体験をさせてみる機会をあたえることです。ジャカルタに住んでいる子供たちにとって、自然体験、文化体験、社会体験など、日本の子供たちよりもはるかに刺激を受けるはずです。

体育祭「よく頑張った」

開会式の挨拶でもお話しさせていただきましたが、小1から中3までが一致団結し、その連携した姿を見ることができる数少ない学校が、ジャカルタ日本人学校だと思います。この1か月、子供たちは色別に分かれ、応援の演舞を考え、そしてそれを下の学年に伝えていく様子は、とても微笑ましくかつたくましくもありました。予行練習での姿は、黄、青、赤のどの組にも驚かされてしまいました。そこからさらにパワーアップされ、



本番を見事に披露してくれました。

また、1、2年の「ドラちゃんズ in どどネシア」、3、4年「ようこそ！ダンス万博へ」、5、6年「夢舞駆翔」はオリジナリティに富んだ演技でした。また、中学部の「ワイルドスピード～フルスピードで走るのが俺の人生だった～」での走り



はさすがに圧巻でした。どの学年も「輝突勝飛」のスローガンの下、よく頑張りと、まさに、頑張った姿が周りに感動を与えてくれたのではないのでしょうか。当日は朝早くから子供たちの応援に来ていただき、感謝申し上げます。

一方でこの体育祭を開催するに当たって、陰で多くのスタッフが子供たちを支えてくれていました。入退場門、得点板、スローガンの掲示、そして当日も朝暗いうちから、子供たちのシートを敷いたり、音響施設のチェックしたりするなど、多くのカリヤワンさん達が準備をしてくれ



ました。もちろん、校庭の白線も子供たちの練習に支障がでないように何度も引き直しをしてくれました。「仕事でしょう」と言ってしまうかもしれませんが、前任校のスタッフと比べてもジャカルタのスタッフが明らかに協力的で、文句も言わず、にこやかに仕事をしてくれています。当然、彼らだけではありません。保護者の方々を含め、多くの方々に支えられて学校行事は成り立っています。関わりのあった皆様に感謝申し上げます。(そのことを子供たちにも話してあげてください。)

いよいよ夏休み～8月25日まで～

終業式で子供たちに、年度当初に伝えた「あ・ひ・る」ができるようになったかを振り返ってもらいました。

①あいさつが前よりよくなったか ②体育祭を含め、ひたむきに取り組むことができたか(中学生)、係活動や掃除などひとりで進んでできたか(小学生) ③ルールを守って生活することができたか

そして、明日から始まる夏休みに対して、「夏休み、目標が一つでも達成できるように」と話しました。

各家庭におかれましても、一日一日が充実するよう、学校があるときにはできないことにチャレンジさせてみてください。SMP3の子供たちは受験勉強で大変かとは思いますが、リフレッシュする時間も大切なので、時には家族と一緒にゆったりとした時を過ごせるようにしてみてください。